

〈3/11 監視チームにおける議論のまとめ〉

1. 安全対策(津波)の基本的な考え方及びスケジュールについて
- ⑤ 対策完了時期の適切性

漂流物となり得る設備等の固縛等の対策について

令和2年4月1日

再処理廃止措置技術開発センター

1. 漂流物となり得る設備等の固縛、移動、撤去

漂流物となり得る設備等に対し、漂流物調査結果や津波影響評価の結果を踏まえ、固縛、移動、撤去等の処置の計画をR2年6月までに定め、これに従い計画的に対策を進めて行く。

なお、建家外への流出を防止するため、当面の処置として三酸化ウラン粉末の貯蔵容器及び廃棄物容器の固縛処置を進める。

2. 当面の固縛等の対策

(1) 三酸化ウラン粉末の貯蔵容器の固縛対策

三酸化ウラン粉末は、ウラン貯蔵所(1U03)、第二ウラン貯蔵所(2U03)、第三ウラン貯蔵所(3U03)にステンレス容器に収納して貯蔵している。第三ウラン貯蔵所においては、貯蔵容器をピット内に収納し貯蔵しており、浸水により流出し難い構造となっている。ウラン貯蔵所、第二ウラン貯蔵所においては、貯蔵容器を平置き又は多段積みにより貯蔵していることから、固定金具等を設置し床面又は貯蔵架台に固縛する対策により、施設外への流出防止を図る(添付1参照)。

ウラン貯蔵所 : R2年6月終了予定

第二ウラン貯蔵所 : R3年3月終了予定

(2) 低放射性固体廃棄物の廃棄物容器の固縛対策

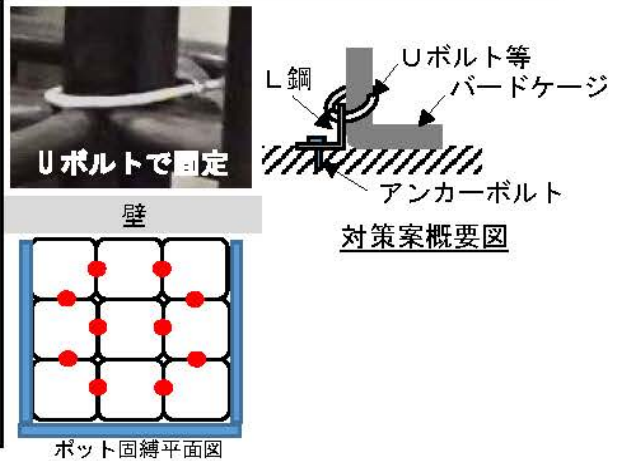
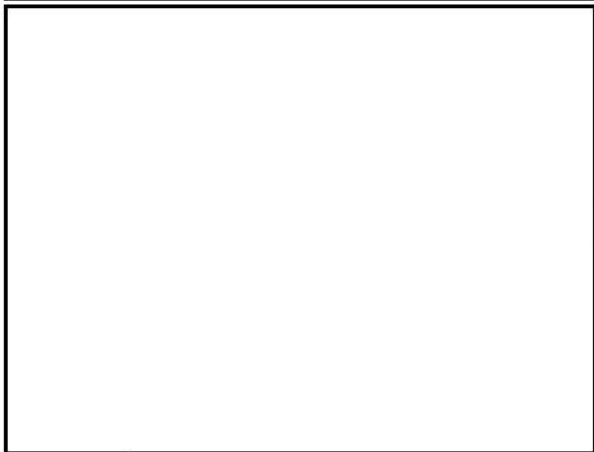
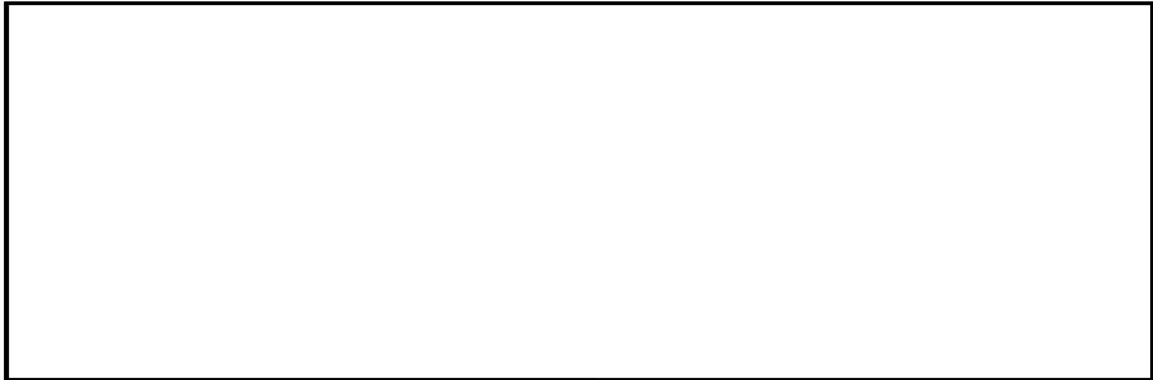
低放射性固体廃棄物は、廃棄物容器(ドラム缶又はコンテナ)に封入し、第一低放射性固体廃棄物貯蔵場(1LASWS)及び第二低放射性固体廃棄物貯蔵場(2LASWS)に貯蔵している。廃棄物容器は、平置き又は多段積みにより貯蔵していることから、廃棄物容器を互いに固縛する又はネットなどにより固縛する対策を行い施設外への流出防止を図る(添付2参照)。

第一低放射性固体廃棄物貯蔵場 : R3年3月終了予定

第二低放射性固体廃棄物貯蔵場 : R3年3月終了予定

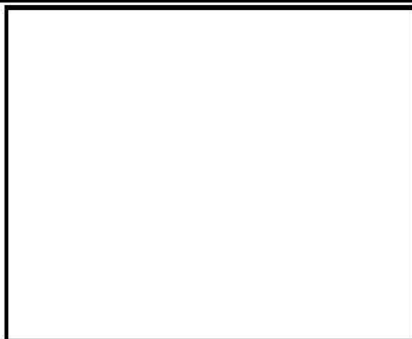
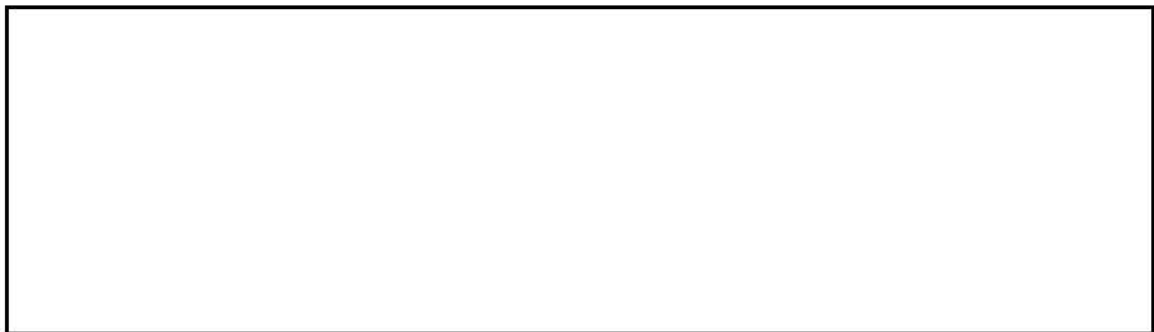
以上

1. 1U03 について



1U03 ポットの固縛対策案(L鋼・Uボルトによる固定)

2. 2U03 について



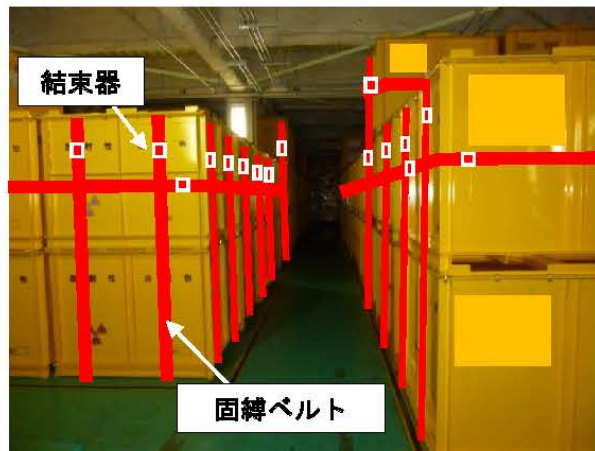
専用の4段積みラックに、L鋼を取り付ける対策を行う。

3. 1LASWS について



1LASWS 1 階の固縛処置案 (流出防止ネットによる固縛)

4. 2LASWS について



2LASWS 1 階及び 2 階の固縛処置案 (ベルト等による固縛)

1LASWS 及び 2LASWS における廃棄物容器の固縛処置案